

学校教育目標「考える子」「心の美しい子」「たくましい子」

目指す学校像 子どもも 先生も「学校の楽しさをともに味わう学校 ～わくわくしよう～」

楽しく読む子

【子どもたちの読みの力の向上に向けて】

- 全ての学びの基盤となる
「読みの力」を意識した授業づくり
(個で みんなで とともに読み合う活動
つまずきの確認 言葉のまとまりへの意識)
- 日々の読書活動と音読活動の充実
(語彙力 想像力 表現力の育成)
- 朝活動で取り組む ことば遊び
ドリル学習 MIM への取り組み

あいさつする子

【あいさつを通して心と心をつなぐ】

- 「おはよう」「こんにちは」「さようなら」の励行
目を見て、あいさつが広がる学校づくり
- 児童会活動とタイアップしたあいさつ活動の
実施(ゲームやウオークラリーなど、コミュニ
ケーションを広げる活動の実施)
- 神川っ子やスーパー神川っ子など、学年学級
の枠をこえるあいさつ・交流の機会拡大
- 家庭や地域と連携したあいさつ活動

元気に遊ぶ子

【遊びを通して体を動かす】

- 休み時間の延長～わくわくタイム～(子ど
もも教師も一緒に遊ぶ機会づくり)
- 神川ランド、中庭、ロータリーの有効活用
(縄跳び・一輪車・竹馬、鬼ごっこやかくれ
んぼなど多様な遊び場づくり)
- 思いっきり遊ぶことができる校庭
(みんなが遊ぶ校庭の遊び方の工夫)
- 楽しみながら行う体育(つけたい力を意
識した運動の取組)

学び続ける教師として ～授業づくり 職員研修 児童理解～

- 「神川スタンダード」を通して、全学級で大切に授業の学び方(ねらいの明
確化 ふり返り活動の充実)の実施と最適な学習環境(ユニバーサルデザイン)作り
- 「公開授業」「授業研究会」をもとに学びの楽しさを味わう授業づくりの工夫
- 「多様な学習形態」として、「個別最適な学び」「ペア・グループ学習」「複数教
員による指導」「教科担任制」「コース別学習」「自由進度学習」による児童指導
- 「ICTを生かした授業づくり」1人1台タブレット端末の有効活用
- 「個に合った学びの場づくり」特別支援学級・かंगाわ教室・日本語教室・まな
びの教室・ことばの教室の連携
- 学年系統をもとにした「人権教育」「メディア教育」「安全教育」「性教育」の推進
- 「職員研修」の充実
児童理解(子どもの気持ちに寄り添って) 授業改善(手だてや引き出しを増やす)
- 「相談ウィーク」「学級懇談会(年3回)」「保護者懇談会(年2回)」「全職員による児
童理解の時間」「スクールカウンセラーとの連携」による情報共有化

保護者・地域との連携

- 学校 HP や学校だより、学年・学級通信による活動の共有
- 各家庭でのルール「メディアコントロールウィーク」への取組
- 学習・生活ノート「紡ぐ」をもとに
した家庭学習(自主学習)の取組
- 保護者とともにつくる PTA 活動
学級懇談会の充実
- 「ふるさと学習」や「国分寺史跡公園
全校清掃」、「上田養護学校との交流」
等、地域とつながる交流学習
- 「クラブ活動」「ボランティアルーム
(POKKA)」「登校見守り隊」
地域の方々との交流
- コミュニティースクールとの連携

学校訓 山本鼎先生の言葉

自分が直接
感じたものが
守るべきもの
仕事が生きて
くるものであ
らなければ
ならない